令和９年度

鳥取大学大学院工学研究科
博　士　後　期　課　程
１０月入学

学　生　募　集　要　項

一般入試
社会人特別入試
外国人留学生特別入試

Application Procedure for
Foreign Student Admission
to
Graduate School of Engineering
Doctor’s Program, 2027
(October entrance)

鳥取大学大学院工学研究科
〒680-8552　鳥取市湖山町南４丁目１０１番地
Graduate School of Engineering, Tottori University

入　試　日　程

入試区分　　一般入試
　　社会人特別入試
　　外国人留学生特別入試

（第１回）

事　　項	期　　日
出願資格審査申請期間	令和 ８ 年 ９ 月 ７ 日（月） ～ ９ 月１０日（木）
出　願　期　間	令和 ８ 年１１月 ９ 日（月） ～ １１ 月１２日（木）
試　　験　　日	令和 ８ 年１２月 ２ 日（水） ～ １２ 月 ８ 日（火） ※　上記期間で指定された日時
合　格　発　表	令和 ８ 年１２月２２日（火）

（第２回）

事　　項	期　　日
出願資格審査申請期間	令和 ９ 年 ４ 月 ５ 日（月）～ ４ 月 ８ 日（木）
出　願　期　間	令和 ９ 年 ６ 月１１日（金）～ ６ 月１６日（水）
試　　験　　日	令和 ９ 年 ７ 月 １ 日（木）～ ７ 月 ７ 日（水） ※　上記期間で指定された日時
合　格　発　表	令和 ９ 年 ７ 月２３日（金）

目　　次

頁

Ⅰ．募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

Ⅱ．一般入試・社会人特別入試・・・・・・・・・・・・・・　２

Ⅲ．入学手続等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

Ⅳ．一般入試・社会人特別入試　出願資格審査　・・・・　８

Ⅴ．外国人留学生特別入試　・・・・・・・・・・・・・・　１０
Foreign Student Admission

Ⅵ．教員一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

Ⅰ．募集人員

専　攻　名	募　集　人　員
工　学　専　攻	１２人
計	１２人

（注）　上記の募集人員は，一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試の合計です。

Ⅱ．一般入試・社会人特別入試

１．出願資格

次のいずれかに該当する者

（１）　修士の学位を有する者及び令和９年９月３０日までに修士の学位を取得見込みの者

（２）　外国において，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年９月３０日までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

（３）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年９月３０日までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

（４）　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年９月３０日までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

（５）　国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年９月３０日までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

（６）　文部科学大臣の指定した者

（７）　本研究科において，個別の出願資格審査により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達した者及び令和９年９月３０日までに２４歳に達する者

（注）　出願資格（６）及び（７）に該当する者は，８ページの「Ⅳ．一般入試・社会人特別入試出願資格審査」を参照の上，申請手続を行ってください。

２．出願にあたっての留意事項について

（１）　志願者は，出願前に必ず希望主指導教員と連絡をとってください。主指導教員は後記の一覧表（P.14～P.21）から選択してください。

（２）　出願書類に不備のあるものは受理しませんので，記載事項に記入漏れ，誤記のないよう十分注意してください。

（３）　入学願書受付後，出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

（４）　出願後，現住所等に変更があった場合には，速やかに連絡してください。

（５）　とじ込みの所定用紙に記入の際，パソコン等を使用しても差し支えありません。また，所定用紙の様式に準じたものであれば，別葉の用紙で作成しても差し支えありません。

３．社会人特別入試の出願要件

社会人特別入試に出願することのできる者は，上記１の出願資格のいずれかに該当し，各種の研究機関，教育機関，企業等に勤務している者で原則として入学後も職員の身分を有する者とします。

４．社会人特別入試により入学する学生への配慮について

社会人特別入試により入学する学生には，学生個別の事情に合わせ，授業科目の履修形態を配慮します。

５．出願手続

（１）　出願期間

第１回　　令和８年１１月　９日（月）～１１月１２日（木）（必着）
　　受付時間　　９時～１７時

第２回　　令和９年　６月１１日（金）～　６月１６日（水）（必着）
　　受付時間　　９時～１７時

（２）　出願方法

出願方法は，持参又は郵送とします。なお，郵送の場合は**「書留速達」**とし，封筒表面に**「工学研究科博士後期課程（令和９年１０月入学）願書在中」**と**朱書**してください。**（期間内必着）**

（３）　出願書類提出先

〒680-8552　鳥取市湖山町南４丁目１０１番地
鳥取大学工学部教務係
TEL　0857-31-5186

（４）　出願書類等

入学志願票	本学所定の用紙に記入してください。 （とじ込みの所定用紙　**様式１**）
写真票・受験票	写真（上半身・無帽・正面向きで出願前３か月以内に撮影したもの。縦４㎝×横３㎝）を所定の欄に貼ってください。
修士学位論文等要旨	８００字程度で記入してください。博士前期（修士）課程修了見込み者は修士学位論文等の研究題目とその研究の進捗状況について要約したもの。 （出願資格審査申請者は，不要です。）（とじ込みの所定用紙　**様式２**）
研究業績調書	８００字程度で記入してください。修士学位論文等に関連した研究業績や，その他の研究業績を有する者は，著書，学術論文，学術講演，学術報告，特許及び実用新案等社会における研究活動状況を示すものを記入してください。なお，関連した論文の別刷等又は学術講演，特許等がある場合は，そのコピーを添付してください。 （出願資格審査申請者は，再提出の必要はありません。） （とじ込みの所定用紙　**様式３**）
研究計画書	研究を希望するテーマあるいは分野について，目的及び構想を１，０００字程度で記入してください。（希望主指導教員と相談しても結構です。） （とじ込みの所定用紙　**様式４**）
在職証明書	各種の研究機関，教育機関，企業等に勤務している者で，入学後も職員の身分を有する者は，勤務先が作成したものを提出してください。 なお，出願時に提出できない場合は，工学部教務係に連絡の上，試験日までに必ず提出してください。（様式任意）
博士前期(修士)課程修了(見込)証明書等	修士の学位を取得したことが分かるもので，出身大学長（研究科長）が作成したもの。ただし，令和９年９月修了見込みの者は，博士前期（修士）課程修了見込証明書。（本学の研究科博士前期（修士）課程修了者又は修了見込みの者及び出願資格審査申請者は，不要です。）
成績証明書 （博士前期（修士）課程）	出身大学長（研究科長）が作成し，厳封したもの。 （本学の研究科博士前期（修士）課程修了者又は修了見込みの者及び出願資格審査申請者は，不要です。）

検定料 （検定料振込済 証明書貼付票） （注）検定料振込依頼書は，巻末にあります。	３０，０００円 本学所定の検定料振込依頼書で最寄りの銀行窓口（郵便局，ゆうちょ銀行を除く。）にて振込みの上，**取扱銀行の収納印が押された「検定料振込済証明書」を必ず受け取り，「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けて提出してください**。（ＡＴＭは利用しないでください。また，手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。） 「受取書」（本人保存）は領収書となりますので，大切に保管してください。 ※検定料は，第１回入学試験を志願する者は令和８年１０月７日（水）～令和８年１１月１２日（木）までに，第２回入学試験を志願する者は令和９年５月６日（木）～令和９年６月１６日（水）までの期間に振込みをしてください。 なお，既納の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。 （ア）検定料を振り込んだが出願しなかった場合 （イ）検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 （ウ）検定料を二重に振り込んだ場合 上記（ア）～（ウ）に該当する者は，必ず工学部教務係まで連絡してください。返還の際には，「検定料振込済証明書」又は「受取書」が必要となる場合がありますので，大切に保管してください。 **（令和９年９月に本学の研究科博士前期（修士）課程を修了見込みの者で，引き続き本課程に進学する者は不要です。）**
受験票等送付用封筒	長形３号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記の上，４１０円分の切手（速達料を含む。）を貼ってください。
住民票等 （外国人志願者のみ）	日本に在住する外国人志願者は，市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等，在留資格が記載されたものを，その他の外国人志願者はパスポートの写しを提出してください。

６．入学者の選抜

（１）　入試方法

入学者の選抜は，口述試験及び書類審査の結果を総合して判定します。

（２）　学力試験

①　試験内容：　口述試験は，研究実績と研究計画に基づくプレゼンテーションに対する質疑応答の形式で実施します。質疑応答は，本研究科での教育・研究活動を行うために必要な資質の観点から評価します。志望する研究分野に関連する科目，修士学位論文等（博士前期（修士）課程修了見込み者については，修士学位論文等の進捗状況），研究業績調書，研究計画書等の内容について，１時間程度行います。

②　日　時

第１回　　令和８年１２月２日（水）～　８日（火）の期間で指定された日時

第２回　　令和９年　７月１日（木）～　７日（水）の期間で指定された日時

③　場　所　　鳥取大学工学部又はオンライン

鳥取市湖山町南４丁目１０１番地

TEL　0857-31-5186

④　集合場所及び集合時間は，受験票送付の際にお知らせします。

試験当日は，受験上の注意事項の説明を行いますので，必ず集合時間までに集合場所に入室してください。

⑤　試験当日は，必ず「受験票」を持参してください。

７．工学研究科工学専攻（博士後期課程）における事前相談について

工学研究科（博士後期課程）では，入学希望者と希望する研究室の教員との間で行う事前相談について，以下のルールを定めています。

１　入試に関する情報は，公表されている学生募集要項に基づいて伝え，特定の志願者に有利となる情報提供は行いません。

２　事前相談では，主に入学後の研究分野や研究内容・計画に関する確認を行い，学力検査や口述試験の内容に関する情報漏洩がないよう留意します。

３　事前相談の中で，合格が確約されたかのような誤解を招く情報伝達はしません。

４　志願者の個人情報は慎重に取り扱い，事前相談以外の目的には使用しません。

８．障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のために，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，第１回入学試験を志願する者は令和８年９月１０日（木）までに，第２回入学試験を志願する者は令和９年４月８日（木）までに，次の事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書を添えて，鳥取大学工学部教務係へ提出してください。

（１）　志願者の氏名，住所，連絡先電話番号
（２）　出身学校
（３）　希望主指導教員名
（４）　障がいの種類，程度
（５）　受験上希望する配慮
（６）　修学上希望する配慮
（７）　出身大学等でとられていた修学上及び生活上等の措置
（８）　日常生活の状況

なお，本研究科が必要と認めた場合には，本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

９．合格発表

第１回　　令和８年１２月２２日（火）
第２回　　令和９年　７月２３日（金）

合格者には合格通知書を送付します。

また，令和９年９月に本学の研究科博士前期（修士）課程を修了見込みの者で，引き続き本課程に進学する者には，合格通知書に代え進学許可書を送付します。

なお，合格者及び進学許可者の受験番号は，午前１１時頃，本学ホームページ（https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/）に掲載します。

合格又は進学に係る電話等による照会には応じません。

１０．不測の事態等が発生した場合の対応について

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合，又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は，試験時間の短縮や試験日時，入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合，対応を本学ホームページでお知らせしますので，出願及び受験の直前には特に注意してください。

１１．入学志願者の個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学試験に用いた試験成績等の個人情報については，入学試験に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学試験方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請，後援会，同窓会等），授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。

他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

Ⅲ．入学手続等

１．入学手続について

入学手続の方法等詳細については，令和９年８月頃に合格者に直接通知します。

２．入学料等納入金について

（１）　入学料　２８２，０００円（予定額）

入学料の納入方法については，合格通知の際にお知らせします。ただし，令和９年９月に本学の研究科博士前期（修士）課程を修了見込みの者で，引き続き本課程に進学する者は不要です。

（２）　授業料　前期分　２６７，９００円（年額　５３５，８００円）（予定額）

授業料の納入方法については，合格通知の際にお知らせします。

（注）　入学料・授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は，改定後の入学料・授業料を納入していただくことになりますのでご了承ください。

３．入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し，入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は，本人の事前申請に基づき選考の上，入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

（１）経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合

（２）入学前１年以内において，学資負担者が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

（３）（２）に準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある場合

詳細については，学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

４．国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生１人につき350万円以内を固定金利で利用でき，在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については，日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

５．提携教育ローン（オリエントコーポレーション）

入学料・授業料を対象にした(株)オリエントコーポレーション（オリコ）との提携教育ローンです。オリコが学費負担者に代わって大学へ直接納入します。

毎月の返済については複数の返済方法があり，一部繰上返済も可能です。

詳細については，オリコ学費サポートデスク（0120-517-325)へお問い合わせください。

６．奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において，人物・学業とも優れ，かつ，経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には，本人の申請に基づき選考の上，奨学金を貸与し，修学を援助する制度があります。

また，本学では大学院博士課程（博士後期課程）に入学・進学する学生の研究意欲の向上及び優れた研究の推進に資するため，１・２年次学生を対象とした「エンカレッジ・ファンド」があり，研究科長から推薦された者に年額５０万円を限度として奨学金が給付されます。

詳細については，学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

７．学生教育研究災害傷害保険について

本学では入学後に大学生活を安心して過ごせるよう，学生教育研究災害傷害保険制度への加入を推奨しています。保険料は３年間で２，６００円です。民間の保険制度に比べてかなり安価な掛け金で傷害にあった際には補償されます。

（注）この保険は，正課中，課外活動中又は大学構内あるいは通学途中に被った不慮の事故で死亡，負傷した場合に支払われる傷害保険です。

詳細については，保健管理センター（TEL（0857）31-5065）へお問い合わせください。

８．長期履修学生制度について

博士後期課程学生の標準修業年限は３年間ですが，職業を有している等の事情により３年間で履修することが困難である者に対し，長期履修学生制度を設けています。

希望する場合，認められれば，事情に応じて最長６年間まで履修することができます。（休学期間を除く）

Ⅳ．一般入試・社会人特別入試　出願資格審査

「出願資格（６）及び（７）」に該当する者の出願資格審査は，次のとおり行います。

１．出願資格（６）に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は，次の①又は②のどちらかに該当する者であり，かつ③の条件を満たす者とします。

①　大学を卒業又は外国において学校教育における１６年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者

②　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後，大学，研究所等において，２年以上研究に従事した者

③　著書，学術論文，学術講演，学術報告及び特許等において，修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者

２．出願資格(７)に定める「個別の出願資格審査により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，２４歳に達した者及び令和９年９月３０日までに２４歳に達する者」により出願を希望する場合の出願資格要件については教務係へお問い合わせください。

３．上記１及び２に該当する者は，それぞれ次の期間に，工学部教務係に次の（１）から（４）までの書類を提出してください。

（１）　「卒業証明書」又は「修了証明書」（本学を卒業した者は不要です。）

（２）　「研究業績調書」（とじ込みの所定用紙　様式３）（論文の別刷等を添付してください。）

（３）　「入学者選抜試験出願資格審査調書」（とじ込みの所定用紙　様式５）

（４）　「長形３号封筒」(郵便番号・住所・氏名を明記の上，４１０円分の切手（速達料を含む。）を貼ってください。）

出願資格審査書類受付期間

第１回　令和８年　９月　７日（月）～　９月１０日（木）
　　受付時間　　９時～１７時

第２回　令和９年　４月　５日（月）～　４月　８日（木）
　　受付時間　　９時～１７時

なお，第１回の審査結果は，令和８年１０月８日（木），第２回の審査結果は，令和９年５月１３日（木）に本人あてに送付します。

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程案内

１．教育・研究の方針とカリキュラム

博士後期課程は，博士前期課程修了者・社会人・外国人留学生などを受け入れています。

この博士後期課程では，独創的かつ先駆的な研究を先導できる高度な研究者，社会の様々な分野で活躍し得る知識や能力を有する技術者などの人材を養成することを目的としています。この目的を達成するために，講義及び特別研究を実施します。

なお，社会人に対しては社会人特別入試制度があり，学生本人の都合がつきやすい時期，時間に研究指導及び授業を行います。

修了に必要な単位数に関しては，主指導教員の指導に基づき，合計１０単位以上を修得することを課しています。

カリキュラムには，分野を問わず工学に共通的な素養であるデータサイエンスを学ぶ「データサイエンス科目」，実践に必要となる知識ならびにジェネリックスキルを身につける「実践科目」を設けています。また，情報社会システム，資源・エネルギー，先端科学技術の３つの領域に関する専門性を深める「専門科目」，博士論文を作成するための研究を推進する「総合科目」を設置しています。

2. 入学者の受入れの方針

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程では，次のような人を広く受け入れます。

１．工学分野において自ら課題を発見し解決するために必要となる学士課程及び博士前期課程相当の基礎的な知識，技術を備えている人
２．専門的及び学際的立場から工学分野の高度で先進的な研究を行い，俯瞰的な広い視野と豊かな学識を有し，学術的な探求を通じて課題の解決や価値の創造に向けて，自立した研究活動を行う能力を身につけたい人
３．社会の要請に対応できる創造力を有し，高度な課題の発見・解決力，専門的なコミュニケーション能力を有する技術者・研究者を目指す人
４．社会的責任感に基づく高い倫理観を身につけ，高度な専門性を必要とする職業を担おうとする人

これらの人を受け入れるため，一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試など，多角的，総合的な評価による入試の機会を設けます。

様式　1

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程

入　学　志　願　票

（令和９年１０月入学）

いずれかに○印を付してください
一　般　入　試
社会人特別入試

フリガナ		受験番号
氏　名 生年月日	男　・　女 年　　月　　日生	※
希望主指導教員		
出身大学	大学　　学部　　学科 年　　月卒業	
	大学大学院　　研究科（修士・博士前期） 専攻　　年　　月 修了 修了見込	
勤務先又は職業		
現住所	〒 ＴＥＬ	
受信場所	〒 ＴＥＬ	

（注）１．※印欄は記入しないでください。

２．記入はペン又はボールペンを用い，楷書で記入してください。

３．「受信場所」は，入学決定までの通信を受ける場所を記入し，変更した場合は速やかに届け出てください。

４．履歴事項は，詳細に記入してください。

（令和９年１０月入学）

履　　歴　　書

	年　　月	事　　項
学　歴 高等学校卒業から記入してください。 なお，大学等での研究生等として在学歴がある場合は，その期間も記入してください。	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
職　歴	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程
（令和９年１０月入学）

写　真　票

（一般，社会人）※いずれかに○

受験番号	※
氏　　名	

写真欄
（4cm×3cm）

※印欄は記入しないでください。

（切り離さないでください）

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程
（令和９年１０月入学）
検定料振込済証明書貼付票

（切り離さないでください）

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程
（令和９年１０月入学）

受　験　票

（一般，社会人）※いずれかに○

受験番号	※
氏　　名	

写真欄
（4cm×3cm）

（注）１．※印欄は記入しないでください。
２．受験の際はこの受験票を必ず持参し，机上に置いてください。

様式　２

修 士 学 位 論 文 等 要 旨

（令和９年１０月入学）

氏 名		受　験 番　号	※

（８００字程度で記入してください。）

論 文 題 目

※印欄は記入しないでください。

様式　３

研　究　業　績　調　書

（令和９年１０月入学）

氏 名		受　験 番　号	※

過去の研究又は職務内容（８００字程度）

主 要 な 論 文 等 の 一 覧 表

学術論文，学術講演，学術報告，特許等の名称	発行又は発表の 年　月　日	発行所，発表雑誌等又は 発 表 学 会 等 の 名 称	備考（共著者名又 は共同発表者名）

（注）１．※印欄は記入しないでください。

２．年代順に記載してください。また，学術論文等は，別刷又は写を添付してください。

３．「学術論文，学術講演，学術報告，特許等の名称」欄で，本人が発表した学術講演には○印を付してください。

４．この調書の記入欄が不足する場合は，適宜この様式で別紙を作成して記入してください。

様式　４

研　究　計　画　書

（令和９年１０月入学）

氏 名		受　験 番　号	※

（１，０００字程度で記入してください。）

※印欄は記入しないでください。

受験番号	※

様式　５

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程
入学者選抜試験出願資格審査調書
(令和９年１０月入学)

フリガナ		現　職		希望主指導教員	
氏　名	男・女	現住所	〒 TEL		
年　　月　　日生					

学　　歴	
年　月　日	事　　項

職　　歴	
年　月　日	事　　項

学会及び社会における活動等	
年　月　日	事　　項

本書の記載事項に相違ないことを証明する。

年　　月　　日　　所在地

機関名

所属長名　　印

※印欄は記入しないでください。

Ⅴ．外国人留学生特別入試

1. Application Documents for Foreign Student

Application Documents	Notes
Application for Admission（Use Form 1） （入学志願票）	Fill in the application form.
Admission Cards （写真票・受験票）	Fill in the attached admission cards (including the duplicate) and paste a photograph (head and shoulders, hatless, facing forward, 4cm × 3cm, taken within the previous 3 months) where indicated.
Letter of Recommendation（Use Form 2） （推薦書）	This must be a confidential reference, in a sealed envelope from either the last academic adviser or a recent supervisor of the applicant's professional career. However, students enrolled in Postgraduate (Master) courses of Tottori University applying for the Doctoral courses do not need to submit a letter of recommendation.
Summary of Master's Thesis（Use Form 3） （修士学位論文等要旨）	Summary of Master's Thesis or an Interim Report for applicants who have not yet completed a Master's degree. (This document is not needed by applicants with qualification (4) or (5).)
List of Research Achievements（Use Form 4） （研究業績調書）	List any research achievements in connection with Master's thesis; publications; reports; patents; utility model rights, etc. Attach copies of those documents and publications. (Applicants with qualification (4) or (5) do not need to submit again the documents which have already been submitted in the application procedures for the designation of qualification.)
Research Plan（Use Form 5） （研究計画書）	State the subject, aim, method and schedule of the intended research. The research plan should be discussed in advance with the research adviser, with whom you plan to study.
Master's Degree Certificate Obtained or Expected （博士前期（修士）課程修了（見込）証明書等）	This must be an official document. (This document is not needed by applicants with qualification (4) or (5) or those who have received or expect to receive a Master's degree from Tottori University.)
Certified Academic Record （成績証明書）	This must be an official transcript of all graduate schools attended; some other similar documents if these cannot be issued. The envelope must be by sealed the sending office. (This document is not needed by applicants with qualification (4) or (5) or those who have received or expect to receive a Master's degree from Tottori University.)
Examination Fee of 30,000 JPY （検定料）	Complete the payment at a nearby bank in Japan by the slip enclosed then stick the payment receipt slip (the right part of the form: 検定料振込済証明書) on the Application Payment Confirmation Slip. Flywire is available for payment of examination fees from abroad. Please Check with your preferred supervisor for instructions on how to use it. Payment Period: "Student Recruitment" 1- From Oct. 7, 2026 to Nov. 12, 2026 "Student Recruitment" 2- From May. 6, 2027 to Jun. 16, 2027 The applicants who are presently in the Master's program in this university and foreign students supported by a scholarship from the Japanese government (the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology) are exempt from the examination fee.
Certificate of Residence, etc. （住民票等）	Foreigners residing in Japan should submit a copy of their Residence Card (both sides) or a Certificate of Residence that is issued by the city or town offices they live in. Other foreigners should submit a copy of their passport.

[Important]: If any documents attached to the above Application Documents are written in a language other than Japanese or English, please submit them with a Japanese or English translation attached.

2. Number of Enrollments

Departments	Number of Enrollments
Department of　Engineering	１２

3. Qualifications

Applicants must be foreign students and must be proficient either in Japanese or English. *1　Applicants must contact with a professor from their preferred department before submitting an application.

Applicants must fulfill at least one of the following categories:

(1) Have received, or expect to receive by September 30,2027, a Master's degree from a Japanese university.

(2) Have received, or expect to receive by September 30, 2027, a degree which is equivalent to Master's degree of a Japanese university from a university outside Japan.

(3) Are living in Japan, studied by correspondence with an overseas university and have received, or expect to receive a degree from the university by September 30, 2027, which is equivalent to a Master's degree in the field of science and engineering from a Japanese university.

(4) *2 Have received special designation from the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

(5) *2 Are designated by the Graduate School of Engineering, Tottori University, to have achieved an academic standard equivalent to a Master's degree, and will be 24 or older by September 30, 2027.

*1 Note: Applicants are required to possess Japanese language proficiency equivalent to the B2 level of the "The Reference Framework for Japanese Language Education" or English language proficiency equivalent to the CEFR B2 level.ions'.

*For details regarding "The Reference Framework for Japanese Language Education", please refer to the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) website (https://www.nihongoews.mext.go.jp/information/framework_of_reference)

*2 Note: The applicants who come under (4) and (5) please refer to Section 6 'Designation of Qualifications'.

4. Screening

Selection will be based on:

i) application documents

ii) an interview (about one hour)

Applicants not based in Japan may be interviewed online, but must consult in advance (i.e. before submitting an application), with the professor who will become their adviser.

5. Screening Schedule

	"Student Recruitment" 1	"Student Recruitment" 2
Designation of Qualifications period	Sep. 7, 2026 - Sep. 10, 2026	Apr. 5, 2027 - Apr. 8, 2027
Notification of results	Oct. 8, 2026	May. 13, 2027
Application period*1	Nov. 9, 2026 - Nov. 12, 2026	Jun. 11, 2027 - Jun. 16, 2027
Screening*2	Dec. 2, 2026 - Dec. 8, 2026 Specified date and time	Jul. 1, 2027 - Jul. 7, 2027 Specified date and time
Notification of results*3	Dec. 22, 2026 11:00	Jul. 23, 2027 11:00

*1 Note: If applying by mail, please send by registered mail. Write 'Application Forms for Doctoral Program' in red on the front of the envelope. Address the envelope to:

Admission Office

The Student Section, Graduate School of Engineering, Tottori University

4-101 Koyama-Minami, Tottori, 680-8552 Japan Tel: +81-857-31-5186

*2 Note: The time of the interview (including online interview) will be decided after consultation with the adviser.

*3 Note: The results of the screening will be put on the website of Tottori University (https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/) around 11:00.

Notifications of acceptance will be mailed to successful applicants. Telephone enquiries about the results will not be accepted.

6. Designation of Qualifications

Qualification (4) and (5) shown in Sect. 3 will be designated as follows.

(1) Qualification (4) applies to those fulfilling both conditions below:

(a) The applicants have had research experience for at least two years at an institution such as a university or a research laboratory, after graduation from a university or completion of 16 year courses of educational institutions outside Japan.

(b) The applicants have research achievements such as publications, academic papers, academic lectures, academic reports and / or patents which are judged to be equivalent to a Master's thesis.

(2) If you want to apply under Qualification (5), please ask the graduate school office for detail requirements.

(3) Those who wish to apply for admission on the basis of Qualifications (4) and (5) must submit the following documents to the admission office.

(a) A certificate of graduation from a university (This document is not needed by applicants who have received a bachelor's degree from Tottori University.)

(b) List of research achievements (Use Form 4)
Copies of documents, such as reprints of publications, in connection with the research achievements.

(c) Academic background and professional career (Use Form 6)

The results will be mailed to the applicants.

7. Correspondences in Case of Unforeseen Circumstances

When the screening cannot be implemented as scheduled due to large disaster or other unforeseen events, or when the university foresees that traffic disruption or other hazardous events have great negative effects on the applicants, correspondences might be taken such as changes of examination time and/or dates, screening methods, and date of result publication. When the specific correspondence to such event is determined, it will be posted on the official web site of Tottori University. So please be careful on Tottori University web site, especially just before the examination date.

Graduate School of Engineering, Tottori University, Doctoral Program Description

1. Educational / research goals and curriculum

This doctoral program is open to candidates with a master's degree or its equivalent, including those with professional experience and education abroad.

The program aims to produce advanced researchers who are equipped with the expertise to undertake original and creative research studies and engineers having the knowledge and ability to meet society's needs for a range of professional fields. The program offers lectures and special research studies to satisfy these goals.

Students are required to choose courses for a minimum of 10 credits under the guidance of their supervisors for completing the program.

Curriculum explanation

Data science subjects are common knowledge for all fields of engineering.

Practical subjects are designed to acquire knowledge and generic skills necessary for real-world application.

Specialized subjects are designed to deepen expertise in the following three specific areas: information society systems, resources and energy, and advanced science and technology.

Comprehensive subjects are designed to aid the research towards doctoral dissertations.

2. Policy for accepting candidates

The Doctoral Program at the Graduate School of Engineering, Tottori University accepts the following applicants:

1. those who have the basic knowledge and skills equivalent to the bachelor's course or the master's program necessary to discover and solve problems in the field of engineering;
2. those who wish to carry out advanced research from a professional and interdisciplinary perspective in the field of engineering, have a wide viewpoint and abundant knowledge, and willingness to acquire the ability to solve problems and add value through academic studies;
3. those who aim to become engineers or researchers who have the creativity to meet the needs of society, the ability to discover, solve problems, and maintain professionalism;
4. those with a high standard of ethics based on a sense of social responsibility and wish to take on a profession that requires a high level of expertise.

Form 1
（様式　1）

Examinee's Number （受験番号）	※

※Leave blank（※この欄は記入しないでください。）

Application for Admission
Tottori University
Graduate School of Engineering
Doctoral Program，2027
（October entrance）

入　学　志　願　票

鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程

（令和９年１０月入学）

Instruction（記入上の注意）

- Application should be written either in Japanese or in Roman block capitals.
  （記入は楷書又はローマ字体を用いてください。）
- Numbers should be in Arabic figures.
  （数字は算用数字を用いてください。）
- Year should be written in the Anno Domini system.
  （年号はすべて西暦としてください。）
- Proper noun should be written in full, and not be abbreviated.
  （固有名詞はすべて正式な名称とし，一切省略しないでください。）

１．Name in full：in vernacular（姓名：自国語）

_____ _____ _____

(First name)　(Middle name)　(Family name)

Name in full：in Roman block capitals（姓名：ローマ字体）

_____ _____ _____

(First name)　(Middle name)　(Family name)

２．Nationality（国籍）_____

３．Sex（性別）　☐ Male　男　　☐ Female　女

４．Date of birth　Year _____　Month _____　Day _____

（生年月日）　（年）　（月）　（日生）

５．Present post：with the name of the university graduated or being attended or of the employer.
（現職　：　在学大学名又は勤務先まで記入してください。）

_____

Examinee's Number （受験番号）	※

※Leave blank（※この欄は記入しないでください。）

（令和９年１０月入学）

６．Present address and Telephone number, Fax number, E-mail address

（現住所及び電話番号，ファックス番号，E-mail アドレス）

７．Name of academic adviser of your choice（希望主指導教員）

８．Academic background（学歴）

	Full Name of School（学校名） Address of School（所在地）	Period of Attendance （在籍期間）	Date of Entrance （入学年月）	Date of Graduation （卒業（修了）年月）	Degree （学　位）
Elementary School （小学校）		years （年間）	year　month	year　month	
Lower Secondary School （中学校）		years （年間）	year　month	year　month	
Upper Secondary School （高等学校）		years （年間）	year　month	year　month	
University （大　学）		years （年間）	year　month	year　month	
Graduate School （大学院）		years （年間）	year　month	year　month	

Examinee's Number （受験番号）	※

※Leave blank（※この欄は記入しないでください。）

（令和９年１０月入学）

９．In case you have any books or papers (including a graduation thesis) of your writing, state the titles or subjects with the names and addresses of publishers and the dates and locations of publication.

（著書，論文（卒業論文を含む）があればその題目，出版社名，出版年月日，出版場所を記載してください。）

＊Attach this form with a summary of the above papers or publication.

（注：著書あるいは論文の要約を同封してください。）

Examinee's Number （受験番号）	※

※Leave blank（※この欄は記入しないでください。）

（令和９年１０月入学）

１０．Japanese language background, if any（日本語の学習歴）

1) Name and address of institutes（学習機関及びその住所）

_____

2) Period of study（学習期間）

From _____ , _____ to _____ , _____

Year （年） Month （月） Year （年） Month （月）

１１．Japanese language proficiency：Evaluate your standard by yourself and fill in the following blanks with an × where appropriate.（日本語能力：自己評価のうえ，該当欄に×印を記入してください。）

	Excellent（優）	Good（良）	Poor（不可）
Reading （読む能力）			
Writing （書く能力）			
Speaking （話す能力）			

１２．Foreign language proficiency：Evaluate your standard by yourself and fill in the following blanks with an × where appropriate.（外国語能力：自己評価のうえ，該当欄に×印を記入してください。）

	Excellent（優）	Good（良）	Poor（不可）
English （英語）			
French （仏語）			
German （独語）			
Spanish （西語）			

Examinee's Number （受験番号）	※

※Leave blank（※この欄は記入しないでください。）

（令和９年１０月入学）

１３．Person to be notified in applicant's home country, in case of emergency （緊急の際の母国の連絡先）

1） Name in full （氏名）

2） Address：with Telephone number, Fax number, E-mail address
（住所：電話番号，ファックス番号，E-mail アドレス）

3） Relationship （本人との関係）

Date of Application（出願年月日）

Applicant's Signature（出願者署名）

Applicant's Name：in Roman block capitals（出願者氏名）

《*Foreign Student Admission*》
Admission Card (Duplicate)

Tottori University
Graduate School of Engineering
Doctoral Program，2027
(October entrance)
外　国　人　留　学　生　写　真　票
鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程
（令和９年１０月入学）

Examinee's No.（受験番号）
※ _____

Name（氏名）
_____

Photo
(写真欄)

4 ㎝×3 ㎝

※Leave blank（※印欄は記入しないでください。）

Application Payment
Confirmation Slip
(検定料振込済証明書貼付票)

《*Foreign Student Admission*》
Admission Card

Tottori University
Graduate School of Engineering
Doctoral Program，2027
(October entrance)
外　国　人　留　学　生　受　験　票
鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程
（令和９年１０月入学）

Examinee's No.（受験番号）
※ _____

Name（氏名）
_____

Photo
(写真欄)

4 ㎝×3 ㎝

※Leave blank（※印欄は記入しないでください。）
＊Please bring this card to the examination place
(受験の際,この受験票を必ず持参してください。)

Examinee's Number (受験番号)	※

※Leave blank（※この欄は記入しないでください。）

Form 2
（様式 2）

Letter of Recommendation
Foreign Student
外 国 人 留 学 生 推 薦 書

（令和９年１０月入学）

Applicant（出願者）
Full Name （氏名）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Date of Birth（生年月日）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Nationality （国籍）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Date（日付）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿, ＿＿＿＿＿
（month） （day） （year）

Recommender（推薦者）
Signature（署名）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Name in block capitals（氏名）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Title and Institute (or Company)（役職）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Present Address（現住所）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Form 3
（様式 3）

Summary of Master's Thesis

(To be written in either Japanese or English)

修 士 学 位 論 文 等 要 旨

（日本語又は英語で記入してください）

（令和９年１０月入学）

Examinee's Number （受験番号）	※	Name of Examinee （氏　名）	

※Leave blank（※印欄は記入しないでください。）

Graduate School of Engineering, Tottori University

（ 鳥 取 大 学 大 学 院 工 学 研 究 科 ）

Form 4
（様式 4）

List of Research Achievements

(To be written in either Japanese or English)

研　究　業　績　調　書

（日本語又は英語で記入してください）

（令和９年１０月入学）

Examinee's Number（受験番号）	※	Name of Examinee（氏　名）		
Title of Publications, Oral Presentations, Reports or Patents (学術論文，研究発表・報告特許等の名称)		Name of Journals or Academic Societies / Conferences and Dates of Publications or Presentations, etc. (学術雑誌名あるいは学会名及び発行あるいは発表の時期)		Coauthors (共著者，共同発表者)

※Leave blank（※印欄は記入しないでください。）

Graduate School of Engineering, Tottori University

（鳥取大学大学院工学研究科）

Form 5
（様式 5）

Ｒｅｓｅａｒｃｈ　Ｐｌａｎ

(To be Written in either Japanese or English)

研　　究　　計　　画　　書

（日本語又は英語で記入してください）

（令和９年１０月入学）

Examinee's Number（受験番号）	※	Name of Examinee（氏　名）	

※Leave blank（※印欄は記入しないでください。）

Graduate School of Engineering, Tottori University

（鳥取大学大学院工学研究科）

Form 6
（様式 6）

Academic Background and Professional Career

(To be Written in either Japanese or English)

学　歴　及　び　職　歴

（日本語又は英語で記入してください）

（令和９年１０月入学）

Name of Examinee

(氏名)　　Sex □Male □Female

Name of academic adviser of your choice

(希望主指導教員)

Examinee's Number (受験番号)	※

Present Occupation (現　職)			
Date of Birth, Age (生年月日,年齢)		Present Address (現住所)	

Academic Background(Please list)（学歴）

Professional Career (Please list)（職歴）

Past Professional Experience in Connection with the Research Plan in the Doctoral Program
（博士後期課程での研究計画に関係する過去の職務内容）

※Leave blank（※印欄は記入しないでください。）

＊This form is only applicants with the qualification of（4）or（5）.

（この用紙は出願資格（4）又は（5）の該当者のみに適用するものです。）

Graduate School of Engineering, Tottori University

（鳥取大学大学院工学研究科）

教育研究分野，担当教員及び研究テーマ※
Field of Education-Research, Supervisor and Research Theme※

※募集時点での予定であり，教員の異動等により変更になる場合があります。
※Subject to change due to personnel changes

◎ は入学志願票に記載する場合の希望主指導教員（博士後期課程研究指導教員）を示す。
The symbol of ◎ shows chief academic supervisors to be selected in filling the entrance application form.

■は@に置き換える。
The symbol of ■ should be replaced by @.

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
機械工学 Mechanical Engineering	固体力学 Solid Mechanics	松野　崇 ◎ MATSUNO, Takashi matsu■tottori-u.ac.jp	・金属材料の大変形域変形抵抗の計測とモデル化 ・塑性変形に伴う塑性誘起損傷のマルチスケール解析 ・ミクロ・ナノスケール損傷現象のイメージベース逆解析 ・Forming of high-strength metal material ・Identification of post-necking plastic deformation behavior of metal materials ・Multi-scale analysis of plastic deformation induced damage expansion ・Image-base inverse analysis for micro/nano damaging behavior
		清水　一行 SHIMIZU, Kazuyuki ksmz■tottori-u.ac.jp	
	材料工学 Materials Science and Engineering	陳　中春 ◎ CHEN, Zhongchun chen■tottori-u.ac.jp	・高性能熱電変換材料の創製 ・3Dプリンタを駆使した革新的高強度・高延性チタン合金の開発 ・マルエージング鋼やステンレス鋼の積層造形 ・セラミックス基複合材料のIn-situ合成およびマルチ靭化効果 ・セラミックス粒子強化アルミニウム基複合材料の合成および高強度化 ・高熱伝導率を有するアルミニウム／炭素系複合材料の開発 ・新規抗ウイルス粉体材料の創製および耐久性の向上 ・Fabrication and characterization of thermoelectric materials ・Development of novel high-strength and high-ductility titanium alloys using additive manufacturing , ・Additive manufacturing of maraging steels and stainless steels ・In-situ synthesis and multiple toughening of ceramic-matrix composites ・In-situ synthesis of ceramic-reinforced aluminum-matrix composites ・Extrusion of aluminum-carbon composites with high thermal conductivity ・Development of novel antiviral materials and improvement of their durability
		音田　哲彦 ONDA, Tetsuhiko onda■tottori-u.ac.jp	
	信頼性・設計工学 Reliability and Design Engineering	小野　勇一 ◎ ONO, Yuichi ono■tottori-u.ac.jp	・金属材料の疲労強度評価に関する研究 ・実験応力解析法に関する研究 ・歯車の高強度化に関する研究 ・交通流のモデル化に関する研究 ・交通渋滞緩和の方法論に関する研究 ・Study on fatigue damage evaluation of metals ・Study on experimental stress analysis ・Study on improving strength of gear ・Study on modeling traffic flows ・Study on the methodology of easing traffic jams
		西　遼佑 NISHI, Ryosuke nishi■tottori-u.ac.jp	
	生産加工学 Manufacturing Engineering	佐藤　昌彦 ◎ SATO, Masahiko sato■tottori-u.ac.jp	・難削材の高精度機械加工 ・加工温度の計測と評価 ・機械の振動・騒音低減に関する研究 ・機械装置の異常予兆検知技術の開発 ・High precision machining of difficult-to-cut materials ・Measurement and evaluation of machining temperature ・Evaluation of processed metal material surface ・Study on vibration and noise reduction of machine ・Development of anomaly detection technique of machine
		本宮　潤一 HONGU, Junichi hongu■tottori-u.ac.jp	
	外傷バイオメカニクス Injury Biomechanics	田村　篤敬 ◎ TAMURA, Atsutaka a-tamura■tottori-u.ac.jp	・外傷バイオメカニクスに関する研究 ・人体モデリング・生体材料を用いた力学実験 ・衝突解析 ・Study on injury biomechanics ・Human body modeling and mechanical characterization of biological materials ・Crash simulation
	制御・ロボティクス Control and Robotics	辻田　勝吉 ◎ TSUJITA , Katsuyoshi ktsujita■tottori-u.ac.jp	・脚移動ロボットの高機能化に関する研究 ・宇宙機の機能設計と運動制御に関する研究 ・人の運動支援システムの開発に関する研究 ・Research on the high functionality of legged mobile robots ・Functional design and motion control of spacecraft ・Research on the development of human motion assistive systems

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
機械工学 Mechanical Engineering	宇宙推進工学 Space Propulsion Engineering	葛山　浩 ◎ KATSURAYAMA, Hiroshi katsurayama■tottori-u.ac.jp	・レーザー推進式ロケットのエネルギー変換過程の研究 ・レーザー爆轟波の超高速風洞への応用 ・電磁力を用いた大気圏突入用減速機の開発 ・Research on energy conversion process of laser propelled rockets ・Application of laser detonation waves to ultrafast wind tunnels ・Development of atmospheric entry decelerator using magnetohydrodynamic force
	流体工学 Fluid Engineering	松野　隆 MATSUNO, Takashi matsuno■tottori-u.ac.jp	・大気突入宇宙機熱防御システム開発 ・熱空力，アブレーション，輻射，表面熱化学反応 ・高温プロセスの数値シミュレーション ・航空機・輸送機器の空力解析と低抵抗化 ・プラズマアクチュエータを用いた流体制御に関する研究 ・流れの数値シミュレーションによる解析・開発 ・液体燃料の微粒化と噴霧燃焼に関する研究 ・噴霧および燃焼の計測法に関する研究 ・エンジンの燃焼解析と排気ガス低減に関する研究
		小田　哲也 ODA, Tetsuya odate■tottori-u.ac.jp	・Development of thermal protection system for space vehicles ・Aerothermodynamics, Ablation, radiation, and surface thermochemistry ・Simulation of High-Temperature Processes ・Aerodynamic drag reduction of Aircraft and Ground Vehicles ・Active flow control using plasma actuators ・Research of flow field by numerical simulations ・Research on liquid fuel atomization and spray combustion ・Developments of spray measurement technique ・Engine combustion analysis and emission reduction
応用数理工学 Applied Mathematics and Physics	複雑系数理工学 Mathematical Engineering of Complex Systems	古川　勝 ◎ FURUKAWA, Masaru furukawa■tottori-u.ac.jp	・磁場閉じ込め核融合プラズマの磁気流体力学（MHD）理論・シミュレーション ・ハミルトン力学理論に基づくプラズマ平衡・安定性解析 ・構造保存数値シミュレーション法 ・Theory and simulation of magnetohydrodynamics for magnetically confined fusion plasmas ・Equilibrium and stability analysis of plasmas based on Hamiltonian dynamics theory ・Structure-preserving numerical simulation algorithms
	数理物質科学 Mathematical Material Science	灘　浩樹 ◎ NADA, Hiroki hnada■tottori-u.ac.jp	・結晶形成機構のメタダイナミクス研究 ・非晶質構造や物質形状の機械学習研究 ・機能性分子による結晶形成制御機構 ・ソフトマター／液体の非平衡ダイナミクス ・ソフトクリスタルにおける相転移現象
		高江　恭平 TAKAE, Kyohei takae■tottori-u.ac.jp	・Metadynamics study on crystallization mechanisms ・Machine learning study on amorphous structures and material shapes ・Mechanism of crystallization control by functional molecules ・Nonequilibrium dynamics in soft matter and liquids ・Phase transition in soft crystals
	計算理工学・物理計算工学 Electronic structure calculation/ Computational Physics and Engineering	榊原　寛史 ◎ SAKAKIBARA, Hirofumi sakakibara■tottori-u.ac.jp	・第一原理バンド計算を用いた機能材料の性能シミュレーション ・性能シミュレーションのための多体模型の第一原理的導出 ・高精度及び高効率な多体計算手法の開発 ・第一原理計算に基づく強相関超電導材料の設計予言 ・超伝導転移、励起子転移などのエキゾチック相転移の理論研究 ・薄膜及び超格子などの人工物質の設計 ・Performance simulations on functional materials using first-principles calculations ・First-principles derivation of many-body models used in performance simulations ・Development of highly accurate and efficient solver for many-body problems ・Design Prediction of correlated superconducting materials using first-principles calculations ・Theoretical investigation on exotic transition such as superconducting or excitonic transition ・Design of artificial materials such as thin film and superlattice
	ナノシステム解析学・分子流体力学 Nano Dynamics and Tribology/ Molecular Fluid Dynamic	松岡　広成 ◎ MATSUOKA, Hiroshige hiro■tottori-u.ac.jp	・分子気体／液体潤滑の研究 ・計算トライボロジーの研究 ・情報機器ハードウェアのダイナミクスに関する研究 ・分子間／表面間相互作用の研究 ・トライボロジー現象の超高精度計測 ・希薄気体の流れの研究 ・Research on molecular gas/liquid-film lubrication ・Research on computational tribology ・Research on dynamics of information storage systems ・Research on molecular interactions and surface interactions ・Ultra-high accuracy measurements of tribological phenomena ・Research on rarefied gas flows
		石川　功 ISHIKAWA, Takumi tishikawa■tottori-u.ac.jp	
		土井　俊行 DOI, Toshiyuki doi■tottori-u.ac.jp	

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
応用数理工学 Applied Mathematics and Physics	生体システム解析学 Bio and Fluid Mechanics	後藤　知伸 ◎ GOTO, Tomonobu goto■tottori-u.ac.jp	・微細な流れの観察及び数値シミュレーション ・微生物の集団及び単独の運動 ・細菌の走化性の観察及び数値シミュレーション ・流体音の発生機構と低減技術 ・流れを伴う開口部の音響インピーダンス計測 ・Micro-flow analysis, observation and numerical simulation ・Collective and cellular level behavior of micro-organisms ・Observation and numerical simulation of bacterial chemotaxis ・Aeroacoustics, sound generation mechanism and noise reduction ・Acoustic impedance measurement of an aperture in the presence of mean flow
		中井　唱 NAKAI, Tonau nakai■tottori-u.ac.jp	
	再生可能エネルギー工学 Renewable Energy Engineering	原　豊 ◎ HARA, Yutaka hara■tottori-u.ac.jp	・先端技術風車の研究開発 ・風力タービンの数値流体力学解析 ・小形風車の最適配置に関する研究 ・Research and development of advanced technology of wind turbine ・Computational fluid dynamics of wind turbines ・Research on optimal layout of small wind turbines
知能情報工学 Information and Knowledge Engineering	知能制御工学 Intelligent Control	櫛田　大輔 ◎ KUSHIDA, Daisuke kushida■tottori-u.ac.jp	・生体信号に基づく感覚の定量化 ・画像処理に基づく行動評価システム ・意思決定モデリングと経験則の抽出 ・人に対するパワーアシスト制御システムの設計 ・移動ロボットの知的制御 ・Quantification of sensation based on biological signal ・Motion evaluation system based on image processing ・Decision modeling and extraction of empirical rules ・Control design of human power assist system ・Intelligent control for mobile robot
		竹森　史暁 TAKEMORI, Fumiaki take■tottori-u.ac.jp	
		吉川　宣一 ◎ YOSHIKAWA, Nobukazu nyoshi■tottori-u.ac.jp	・光センシング・光計測 ・ディジタルホログラフィ ・立体ディスプレイ ・散乱イメージング ・Optical sensing and measurement ・Digital holography ・3D display ・Imaging through scattering media
	計算機工学 Computer Science and Technology	川村　尚生 ◎ KAWAMURA, Takao kawamura■tottori-u.ac.jp	・分散システム ・社会情報システム ・エージェントシステム ・ネットワーク・情報セキュリティ ・Distributed systems ・Social information systems ・Agent system ・Network and information security
		高橋　健一 ◎ TAKAHASHI, Kenichi takahashi■tottori-u.ac.jp	
		東野　正幸 HIGASHINO, Masayuki higashino■tottori-u.ac.jp	
		村田　真樹 ◎ MURATA, Masaki murata■tottori-u.ac.jp	・自然言語処理 ・情報検索・情報抽出 ・機械学習 ・Natural language processing ・Information retrieval, information extraction ・Machine learning
	知識工学 Knowledge Engineering	吉村　和之 ◎ YOSHIMURA, Kazuyuki kazuyuki■tottori-u.ac.jp	・非線形科学 ・非線形ダイナミクスを用いた情報処理 ・Nonlinear science ・Information processing using nonlinear dynamics
		清水　忠昭 SHIMIZU, Tadaaki tadaaki■tottori-u.ac.jp	
		木村　周平 ◎ KIMURA, Shuhei kimura■tottori-u.ac.jp	・進化計算 ・バイオインフォマティクス ・自然言語処理における意味解析および感情推定 ・観光情報の応用 ・Evolutionary computation ・Bioinformatics ・Semantic and emotion analysis in natural language processing ・Information technology applications in tourism
		徳久　雅人 TOKUHISA, Masato tokuhisa■tottori-u.ac.jp	
		岩井　儀雄 ◎ IWAI, Yoshio iwai■tottori-u.ac.jp	・計算インタラクション ・パターン認識 ・ヒューマンメディア処理 ・拡張現実感 ・Computational interaction ・Pattern recognition ・Human media processing ・Augmented reality
		青木　工太 AOKI, Kota aoki.k■tottori-u.ac.jp	

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
知能情報工学 Information and Knowledge Engineering	知識工学 Knowledge Engineering	西山　正志 ◎ NISHIYAMA, Masashi nishiyama■tottori-u.ac.jp	・画像認識 ・映像解析 ・ヒューマンインタフェース ・Image recognition ・Video analysis ・Human interface
電気電子工学 Electrical and Electronic Engineering	電子情報制御 Information and Control Engineering	中川　匡夫 ◎ NAKAGAWA, Tadao nakagawa■tottori-u.ac.jp	・ウェアラブル機器の無線伝送および光無線伝送 ・生体センサの高精度化信号処理 ・高周波回路設計 ・Wireless communications and optical wireless communications for wearable devices ・High-precision signal processing for biomedical sensors ・Radio frequency circuit design
		笹岡　直人 ◎ SASAOKA, Naoto sasaoka■tottori-u.ac.jp	・音声強調 ・ディジタル無線通信方式 ・能動騒音制御 ・Speech enhancement ・Digital wireless communication system ・Active noise control
		近藤　克哉 ◎ KONDO, Katsuya kondo■tottori-u.ac.jp	・コンピュータビジョン ・バイオ画像解析・医用工学 ・計測制御システムの知能化 ・Computer vision ・Bioimage analysis and medical engineering ・Development of smart measurement control system
	電気電子システム Electrical and Electronic Systems Engineering	大木　誠 ◎ OHKI, Makoto mohki■tottori-u.ac.jp	・多数目的最適化のための進化的計算アルゴリズム ・記号・数値混合組合せ多数目的最適化問題 ・多数制約付き多数目的最適化 ・Evolutionary computational algorithms for multi-objective optimization ・Multi-objective optimization of symbolic and numeric combinatorial optimization ・Multi-objective optimization problems of structural data
		齋藤　健太郎 ◎ SAITO, Kentaro saitouken■tottori-u.ac.jp	・無線通信システム ・IoTシステム ・ドローンの無線通信システムへの活用 ・Wireless communication systems ・IoT systems ・Application of drones to wireless communication systems
		三柴　数 MISHIBA, Kazu mishiba■tottori-u.ac.jp	・画像処理 ・コンピューテーショナルフォトグラフィ ・Image processing ・Computational photography
	電子物性デバイス Electronic Materials and Device Engineering	市野　邦男 ◎ ICHINO, Kunio ichino■tottori-u.ac.jp	・光デバイス・電力デバイス用ワイドバンドギャップ半導体の研究 ・高効率太陽電池の研究 ・高効率紫外・可視発光素子の研究 ・Study on wide bandgap semiconductors for optical/power devices ・Study on high-efficiency solar cells ・Study on high-efficiency ultraviolet/visible light-emitting devices
		阿部　友紀 ABE, Tomoki abe■tottori-u.ac.jp	・ワイドギャップ化合物半導体の結晶成長に関する研究 ・青-紫外受光デバイス(アバランシェフォトダイオード)の開発 ・青-紫外光変調器の開発 ・高効率紫外発光デバイスの開発 ・Study on crystal growth of wide bandgap semiconductors ・Development of blue-ultraviolet optical detectors (avalanche photodiodes) ・Development of blue-ultraviolet optical modulators ・Development of high efficient ultraviolet light emitting devices

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
電気電子工学 Electrical and Electronic Engineering	電子物性デバイス Electronic Materials and Device Engineering	李　相錫 ◎ LEE, Sang-Seok sslee■tottori-u.ac.jp	・バイオ/ケミカル/医療用MEMSデバイスの研究開発 ・IoT用センサとIoTシステムに関する研究 ・メタマテリアルの設計及び応用 ・RFMEMS及び高周波デバイスに関する研究 ・MEMS devices for bio/chemical/medical applications ・Sensors for IoT and IoT systems ・Design and application of metamaterials ・RFMEMS and RF devices
		松永　忠雄 ◎ MATSUNAGA , Tadao matsunaga■tottori-u.ac.jp	・低侵襲医療MEMSデバイスの研究開発 ・極細径光ファイバMEMSセンサの研究開発 ・ロボット外科手術用マイクロセンサの研究開発 ・マイクロアクチュエータを用いた触覚ディスプレイの開発 ・非平面基板への微細加工技術の研究 ・Development of minimally invasive medical devices utilizing microfabrication techniques (MEMS) ・Development of ultra-thin fiber-optic MEMS sensor ・Development of micro sensors for robotic surgery ・Development of tactile display using micro actuators ・Study on non-planar photofabrication techniques
応用化学 Applied Chemistry	グリーン触媒化学 Green Catalysis Chemistry	片田　直伸 ◎ KATADA, Naonobu katada■tottori-u.ac.jp	・ゼオライト及び固体酸触媒の原理と応用 ・重質油，メタン，バイオマス，廃プラスチックから有用物質への転換に資する触媒及びプロセス開発 ・機能性ナノ構造体の合成 ・水電解および二酸化炭素還元用電極触媒の開発 ・特性制御のためのオンデマンドなゼオライトの合成 ・二酸化炭素回収、有効利用および環境浄化に資する材料開発 ・Principles and application of zeolites and solid acid catalysis ・Conversion of heavy oil components, methane, biomass and plastic waste into useful materials ・Synthesis of functional nanostructured materials ・Development of electrocatalysts for water electrolysis and CO_2 reduction ・On-demand zeolite synthesis for property design ・Carbon capture and utilization, and environmental purification
		辻　悦司 TSUJI, Etsushi e-tsuji■tottori-u.ac.jp	
		津野地　直 TSUNOJI, Nao tsunoji■tottori-u.ac.jp	
	無機元素化学 Main Group Element Chemistry	南条　真佐人 ◎ NANJO, Masato nanjo■tottori-u.ac.jp	・14族元素を鍵とするイオン液体の合成と機能性デバイスの創成 ・機能性電子材料を指向した有機ケイ素および有機ゲルマニウム化合物の分子設計と開発 ・Synthesis of ionic liquids consisting of heavy group 14-elements and application to electrochemical devices ・Design and synthesis of functional organosilicon and organogermanium compounds, and development of electronic materials
	応用電気化学 Applied Electrochemistry	薄井　洋行 ◎ USUI, Hiroyuki usui■tottori-u.ac.jp	・リチウムおよびナトリウムおよびカリウム貯蔵性材料の創製とその二次電池への応用 ・全固体二次電池の開発 ・新規な高密度水素吸蔵材料の設計，合成およびキャラクタリーゼション ・光電変換に基づく新規エネルギー貯蔵材料の開発 ・二次電池電極の反応挙動解析 ・Synthesis of lithium, sodium, or potassium storage intermetallic compounds and their properties as anode materials in rechargeable batteries ・Development of all solid-state secondary batteries ・Development of energy storage materials based on photovoltaics ・Reaction behavior analysis of electrode in rechargeable batteries
		道見　康弘 DOMI, Yasuhiro domi■tottori-u.ac.jp	
	分子集積化学 Molecular Self-assembly	松浦　和則 ◎ MATSUURA, Kazunori ma2ra-k■tottori-u.ac.jp	・人工ウイルス構造の創製と応用 ・生体分子の自己組織化によるナノ構造体の構築 ・光応答性生体分子システムの創成 ・微小管内部空間を利用した機能性材料の創製 ・Creation and application of artificial virus structures ・Construction of nanostructures by self-organization of biomolecules ・Creation of light-responsive biomolecular systems ・Creation of functional materials applying inner space of microtubules
	有機材料化学 Organic Material Chemistry	吾郷　万里子 ◎ AGO, Mariko mariko.ago■tottori-u.ac.jp	・機能性ナノ粒子のハイスループット合成手法の開発 ・多孔性カーボン微粒子の光熱変換効果 ・未利用バイオマス資源を用いた機能性材料の開発 ・天然資源に由来する微粒子の紫外線遮断特性 ・ピッカリングエマルション安定化機構の解明とその応用展開 ・環境中のマイクロプラスチックの迅速分析法の開発 ・High-throughput synthesis for functional nanoparticles ・Photo-thermal conversion with porous carbon particles ・Sustainable development of functional materials from under-utilized biomass resources ・UV-blocking properties of nano-, micro-particles derived from natural polymers ・Mechanisms of stabilisation of Pickering emulsions and development of their applications. ・Development of a rapid analysis method for microplastics released into the environment.

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
応用化学 Applied Chemistry	有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	野上　敏材 ◎ NOKAMI, Toshiki tnokami■tottori-u.ac.jp	・分子糖質科学 ・有機電気化学 ・機能性イオン液体 ・Molecular Glycoscience ・Organic Electrochemistry ・Functional Ionic Liquids
	無機材料化学 Inorganic Materials Chemistry	増井　敏行 ◎ MASUI, Toshiyuki masui■tottori-u.ac.jp	・環境に優しい色材の合成と応用 ・新しい希土類蛍光体の設計 ・無機系紫外線遮断剤の開発 ・希土類を含有する不均一系触媒の調製 ・Synthesis and application of environment-friendly color materials ・Design of new phosphors based on rare earth compounds ・Development of inorganic sunscreens ・Preparation of heterogeneous catalysts containing rare earth elements
生物応用工学 Biotechnology	生物機能開発工学 Biofunction Development Engineering	鈴木　宏和 SUZUKI, Hirokazu hirokazusuzuki■tottori-u.ac.jp 八木　寿梓 YAGI, Hisashi yagi■tottori-u.ac.jp	・微生物と海藻の新しい機能の発見と応用・開発と基礎研究 ・微生物と海藻の機能を利用する物質生産と環境保全への応用展開研究 ・微生物と海藻における生理活性物質の代謝と次世代炭素源の代謝に関わる酵素と遺伝子の解明 ・高変異性好熱菌を利用した酵素進化工学 ・未利用海洋資源を用いた新規医療素材の開発 ・Discovery and application of novel functions of microorganisms and marine algae ・Application and development of the functions of microorganisms and marine algae to the practical production of useful substances and the solutions of environmental problems ・Fundamental studies: enzymology, molecular genetics, and protein engineering of enzymes involved in the metabolisms of physiologically active substances and new generation carbon sources in microorganisms and marine algae ・Directed evolution approaches to enhance enzyme stability using error-prone thermophiles ・Development of new medical materials using unutilized marine resources
	生体触媒工学 Biocatalyst Engineering	岡本　賢治 ◎ OKAMOTO, Kenji okamoto■tottori-u.ac.jp 原田　尚志 HARADA, Hisashi harada■tottori-u.ac.jp	・担子菌由来の生理活性物質の単離と生産 ・担子菌由来の生理活性物質の作用機序の解明 ・担子菌によるリグノセルロース分解酵素，エタノールおよびキシリトールの生産 ・パスウェイエンジニアリングによる有用イソプレノイドの生産 ・高等植物・微細藻類由来イソプレノイド合成遺伝子の機能同定 ・微細藻類による有用物質生産 ・Isolation and production of bioactive compounds from basidiomycetes ・Determining the mechanism of action of bioactive compounds from basidiomycetes ・Production of lignocellulose-degrading enzymes, ethanol and xylitol by basidiomycetes ・Pathway engineering for the production of functional isoprenoids ・Functional characterization of isoprenoid biosynthesis genes in higher plants and microalgae ・Production of useful materials by microalgae
	蛋白質工学 Protein Engineering	溝端　知宏 ◎ MIZOBATA, Tomohiro mizobata■tottori-u.ac.jp 青木　英莉子 AOKI, Eriko eaoki■tottori-u.ac.jp	・タンパク質，酵素の構造と機能相関 ・タンパク質の構造形成 ・タンパク質の安定性とコンフォメーション変化 ・分子シャペロンとアミロイド線維凝集 ・Structure and function of enzyme and protein ・Protein folding ・Protein stability and conformational change ・Molecular chaperone and protein fibrillogenesis (aggregation)
	生物有機化学 Bioorganic Chemistry	花島　慎弥 ◎ HANASHIMA, Shinya hanashima■tottori-u.ac.jp	・柔軟な構造を持つ生体有機分子：相互作用と生命機能の解明 ・脂質膜に作用する有機分子：開発と作用機構の解明 ・生体分子の有機合成 ・Flexible bioorganic molecules: Interactions and biological functions ・Organic molecules targeting lipid bilayers: Mechanistic insights and development ・Organic synthesis of biomolecules
	構造生物学 Structural Biology	永野　真吾 ◎ NAGANO, Shingo snagano■tottori-u.ac.jp 日野　智也 HINO, Tomoya t_hino■tottori-u.ac.jp 佐藤　裕介 SATO, Yusuke yusato■tottori-u.ac.jp	・生理活性物質生合成系の構造生物学的研究 ・アナモックス菌の窒素化合物変換の分子基盤 ・動物による熱感知システムの構造生物学的研究 ・膜タンパク質の構造生物学的研究 ・ユビキチンシグナルの構造生物学 ・Structural biology of natural products biosynthesis ・Molecular basis of nitrogen metabolism by anammox bacteria ・Structural biology of thermal sensation ・Structural biology of membrane proteins ・Structural biology of ubiquitin signaling

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
土木工学 Civil Engineering	構造・ コンクリート工学 Structural and Concrete Engineering	谷口　朋代 ◎ TANIGUCHI, Tomoyo t_tomoyo■tottori-u.ac.jp	・土木構造物，機械構造物及び海洋構造物の構造設計 ・土木構造物，機械構造物及び建築構造物の耐震性能 ・土木構造物，機械構造物及び海洋構造物の維持管理 ・地盤・構造物の地震応答特性の評価 ・GIS及び人工衛星技術を用いた自然災害のハザード評価 ・Structural design of infra-, mechanical and offshore structures ・Earthquake-resistant performance of infra-, mechanical and building structures ・Maintenance of infra-,mechanical and offshore structures ・Earthquake response evaluation of subsurface and building structures ・Hazard assessment of natural disasters by GIS and satellite technology
		野口 竜也 NOGUCHI, Tatsuya noguchit■tottori-u.ac.jp	
		黒田　保 ◎ KURODA, Tamotsu tkuroda■tottori-u.ac.jp	・産業副産物のコンクリートへの有効利用 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の耐久性評価 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の補修・補強 ・コンクリート構造物の劣化予測と維持管理 ・Application of industrial waste products to concrete ・Durability assessment of concrete and concrete structures ・Repair and strengthening for concrete and concrete structures ・Prediction of deterioration and maintenance for concrete structures
	地盤・岩盤工学 Geotechnical and Rock Engineering	中村　公一 NAKAMURA, Koichi nak_x■tottori-u.ac.jp	・飽和土および不飽和土の力学的性質 ・斜面防災とモニタリング ・Constitutive properties of saturated and unsaturated soils ・Slope disaster mitigation and monitoring
		小野　祐輔 ◎ ONO, Yusuke ysk■tottori-u.ac.jp	・地盤構造物の地震応答解析 ・地盤災害の数値シミュレーション ・斜面災害のハザード・リスク評価 ・粘土鉱物に着目した土・岩石の物性の解明 ・粘土鉱物を含有した材料による岩盤の力学特性の向上 ・Earthquake response analysis of earth structures ・Numerical simulation of geohazards ・Hazard risk assessment for slope disaster ・Evaluation of properties of clay mineral-bearing geomaterials ・Properties of rock mass including macro-fracture filled with clay minerals
		河野　勝宣 KOHNO, Masanori kohnom■tottori-u.ac.jp	
	水工・海岸工学 Hydraulic and Coastal Engineering	和田　孝志 WADA Takashi wada-t■tottori-u.ac.jp	・混合砂礫の移動機構と河床変動予測 ・河道への土砂供給による河床変動，流路変動 ・土砂動態に及ぼす河道構造物の影響 ・土石流流動メカニズムの解明 ・山地～河川～河口域にわたる流砂系内の土砂動態把握 ・Sediment transport and bed deformation in non-uniform sediment beds ・Bed deformation and channel evolution due to sediment supply to riverbed ・Effects of river structure on sediment dynamics ・Debris flow mechanics ・Sediment-transport process in a river system from mountainous area to estuary
		黒岩　正光 ◎ KUROIWA, Masamitsu kuroiwa■tottori-u.ac.jp	・波と海浜流の数値解析モデル ・漂砂と海浜変形予測 ・河口・航路の維持管理 ・沿岸防災とモニタリング ・河川流や津波による地形変化解析 ・Numerical model of waves and nearshore currents ・Coastal sediments and Prediction of coastal geomorphological change ・Maintenance of river-mouth, port and harbor ・Coastal disaster and monitoring ・Numerical analysis of topography change due to river flow or tsunami
		梶川　勇樹 ◎ KAJIKAWA, Yuki kajikawa■tottori-u.ac.jp	
	地圏環境・ 建築工学 Geo-spherical Environmental and Architectural Engineering	香川　敬生 ◎ KAGAWA, Takao kagawa■tottori-u.ac.jp	・強震動予測の高度化に関する研究 ・震源破壊過程・地盤構造が地震動に及ぼす影響 ・地球物理学的手法に基づく地下構造の探査とモデル化 ・Research for sophisticating strong ground motion estimation ・Effects of fault rupture process and surface geology on earthquake ground motion ・Exploration and modeling of underground structures based on geophysical methods
		山口　秀文 ◎ YAMAGUCHI, Hidefumi h-yamaguchi■tottori-u.ac.jp	・居住と地域の持続性 ・歴史的建造物の保存活用と歴史的資源を活かしたまちづくり ・地域文脈と地域文脈デザイン ・公共建築の市民共創に関する研究 ・建築工学教育の涵養過程に関する研究 ・工学教育における基礎造形教育に関する研究 ・Sustainable Living and Community Sustainability ・Preservation and adaptive reuse of historic buildings and community development based on historical resources ・Local context and context-sensitive design ・Citizen co-creation of public architecture ・Cultivation process of architectural engineering education ・Basic education of fine arts in engineering education
		辻井　麻衣子 TSUJII, Maiko K. m.tsujii■tottori-u.ac.jp	

講座 Course	教育研究分野 Field of Education-Research	教員名・連絡先 Supervisor	研究テーマ Research Theme
社会経営工学 Social Management Engineering	都市計画 Urban Planning	福山　敬 ◎ FUKUYAMA, Kei fukuyama■tottori-u.ac.jp	・地域都市システムの理論・実証分析 ・社会経済モデルによる定量的政策評価手法の開発 ・都市地域・空間データの解析 ・土木計画学・都市計画 ・Institutional design and analyses of regional socio-economic systems ・Public policy evaluation ・Analysis of urban regional and spatial data ・Infrastructure planning and management, and urban planning
		細江　美欧 HOSOE, Mio mhosoe■tottori-u.ac.jp	
	経営システム Management Systems	長江　剛志 ◎ NAGAE, Takeshi nagae■tottori-u.ac.jp	・地域・産業間波及効果を考慮した政策分析のための多地域応用一般均衡モデル分析手法の開発と実証 ・人口減少社会における居住空間/道路空間の設計 ・不確実性下の社会基盤整備事業のマネジメントと財務価格評価 ・土木計画学・交通工学・地域科学・都市経済学 ・Multi-regional computable general equilibrium model and its application ・Design of residential and road space in a society with decreasing population ・Management and pricing of infrastructure projects under dynamic uncertainty ・Infrastructure planning and management, transportation engineering, regional science and urban economics
	情報システム Information Systems	桑野　将司 ◎ KUWANO, Masashi kuwano■tottori-u.ac.jp	・生活・交通行動分析手法の開発 ・ビッグデータを用いた計画論 ・土木計画学・交通工学・都市計画 ・サービスの品質管理・評価 ・意思決定モデルの開発 ・Activity - travel behavior analysis ・Big data based planning theory ・Infrastructure planning and management, transportation engineering, and urban planning ・Service quality control and evaluation ・Decision making models
		南野　友香 MINAMINO, Yuka minamino■tottori-u.ac.jp	
	公共システム Public Systems	谷本　圭志 ◎ TANIMOTO, Keishi tanimoto■tottori-u.ac.jp	・持続的社会システムの計画方法論の開発 ・生活交通システムの計画論 ・生活支援サービスの設計・分析 ・市民参加型計画プロセスの設計 ・地域運営組織の分析・評価 ・Methodologies for sustainable society planning ・Planning theory of local transport system ・Design and analysis of daily support services ・Design of participatory planning process ・Analysis and evaluation of regional management organization
		長曽我部　まどか CHOSOKABE, Madoka mchoso■tottori-u.ac.jp	
	防災計画 Disaster Prevention Planning	太田　隆夫 ◎ OTA, Takao ohta■tottori-u.ac.jp	・避難シミュレーション等に基づくソフト防災 ・港湾・海岸構造物の性能劣化評価に関する研究 ・社会基盤施設の維持管理モデルに関する研究 ・XR (Cross Reality) とAIによる橋梁維持管理支援システムに関する研究 ・舗装路面評価システムに関する研究 ・Soft measures for disaster prevention based on evacuation simulation ・Performance evaluation of port and coastal structures under damage progression ・Maintenance management model for infrastructure ・Bridge management support system by XR and AI ・Road pavement management system by AI and motion sensor
		江本　久雄 EMOTO,Hisao emoto■tottori-u.ac.jp	
	環境計画 Environmental Planning	宮本　善和 ◎ MIYAMOTO, Yoshikazu miyamoto■tottori-u.ac.jp	・流域/環境経営に関する社会デザイン ・環境デザインに関する研究 ・気候変動の適応策としての防災マネジメント ・循環型社会に向けた微生物の応用 ・水質環境の保全，管理 ・環境配慮型社会システム ・Social design on watershed or rural environmental management ・Design for the preservation of environments ・Disaster risk management for adaptation to climate change ・Application of microorganisms for establishing recycling-based society ・Water quality control and management ・Current issues in global environmental protection
		高部　祐剛 TAKABE, Yugo takabe.yugo■tottori-u.ac.jp	

検定料振込依頼書

記 入 要 領 等

ご依頼日欄　：振込年月日を記入してください。

振 込 先 欄　：山陰合同銀行鳥取営業部又は鳥取銀行湖山支店のどちらかを選び〇印を付けてください。

ご依頼人欄　：受験者本人の氏名（カナ欄及び漢字欄）を、丁寧に記入してください。
　　：住所欄は、郵便番号及び電話番号もご記入願います。

※ 第1回入学試験を志願する者は令和8年10月7日（水）～令和8年11月12日（木）までに，第2回入学試験を志願する者は令和9年5月6日（木）～令和9年6月16日（水）までの期間に振込みをしてください。

※ 必ず銀行窓口で払い込んでください。（ATMは利用しないでください。）

※ 手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

※ここから切り離して使用してください。

電信扱

振 込 依 頼 書（取扱店保存）

科 目

ご依頼日	令和　年　月　日	電 信 扱	手数料
振込先	山陰合同銀行　鳥取営業部 普通　3908393	金 額	¥3000円
	鳥 取 銀 行 湖山支店 普通　0045136	内訳	
受取人	コクリツダイガクホウジン　トットリダイガク 国立大学法人　鳥取大学	収納印または振替印	
ご依頼人	※ 金融機関様へ 必ず依頼人の研究科コード及び氏名（カナ）を打電してください。 研究科コード 30　氏名（カナ） 氏名（漢字） （住所）〒 （電話）（　　）　－		

検定料振込金（兼手数料）受 取 書（本人保存）

ご依頼日	令和　年　月　日
金 額	¥3000円
振込先	山陰合同銀行鳥取営業部　普通　3908393
	鳥 取 銀 行 湖 山 支 店　普通　0045136
受取人	国立大学法人　鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 （電話）　0857-31-5029
ご依頼人	氏名（カナ） 氏名（漢字）
入試区分	令和9年度　鳥取大学大学院 工学研究科入学試験
	手 数 料（消費税込み）　円

上記金額正に受取りました。

（取扱店）　　銀行

　　店

収印　入紙

検定料振込済証明書（大学提出用）

ご依頼日	令和　年　月　日
金 額	¥3000円
振込先	山陰合同銀行鳥取営業部　普通　3908393
	鳥 取 銀 行 湖 山 支 店　普通　0045136
受取人	国立大学法人　鳥取大学 鳥取市湖山町南4-101 （電話）　0857-31-5029
ご依頼人	氏名（カナ） 氏名（漢字）
入試区分	令和9年度　鳥取大学大学院 工学研究科入学試験

※ 本票は、出願書類に貼り付けし、大学へ提出してください。

（取扱店）　　銀行

　　店